

貸借対照表

2022年 1月31日 現在

セーフティ&セキュリティ 株式会社

(単位：千円未満切り捨て)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	166,595	【流動負債】	14,464
現金及び預金	91,558	買掛金	4,248
売掛金	33,971	未払金	4,417
商品	29,527	未払費用	4,833
貯蔵品	70	未払法人税等	183
前渡金	2,005	前受金	82
立替金	6	預り金	699
前払費用	2,392	【固定負債】	129,432
繰延税金資産	1,800	長期借入金	119,432
未収入金	6	社債	10,000
未収法人税等	2,341	負債の部合計	143,896
未収消費税等	3,239	純 資 産 の 部	
貸倒引当金	△323	【株主資本】	60,284
【固定資産】	37,585	資本金	10,000
【有形固定資産】	14,024	利益剰余金	50,284
建物附属設備	6,101	利益準備金	1,380
車両運搬具	1,850	その他利益剰余金	48,904
工具器具備品	6,072	繰越利益剰余金	48,904
【無形固定資産】	1,236	(うち当期純損失金額)	484
ソフトウェア	1,236		
【投資その他の資産】	22,324	純資産の部合計	60,284
投資有価証券	10,200		
出資金	20		
敷金	6,790		
差入保証金	2,237		
長期前払費用	2,943		
預託金	133		
資産の部合計	204,181	負債及び純資産合計	204,181

注 記 表

セーフティ&セキュリティ 株式会社

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券の評価方法は、次によっております。

①時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

②時価のないもの

移動平均法による原価法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づいて簿価を切り下げる方法）によっております。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

建物附属設備については定額法を採用しています。

車両運搬具、工具器具備品については定率法を採用しています。

(2) 無形固定資産

ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込み額に基づき計上しております。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上しております。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。